

59・10月 教育界のうごきから

私学助成金 2年連続ダウン
58年度総額2,751億円

12日、文部省が明らかにしたところによると、日本私学助成振興財団を通じて国の補助を受けた私立大学は、全328校のうち303校(2,328億円余)、短大は445校のうち407校(417億円余)、高専は4校すべて(6億円余)、計2,751億5,000万円、前年度に比べて60億円余の減額、これは臨調答申の抑制方針にそととも、相次ぐ私学の不祥事による見直しを行ったためである。トップは日本大学の139億円余。学生一人当たりでは、東京女子医大の135万円。

教育基本法見直しを
臨調審2委員が発言

臨時教育審議会の有田一寿、金杉秀信両委員は、7日開かれた全日本教職員連盟主催の教育改革シンポジウムに出席、有田氏は「道徳を重視し、日本人の美しい心を育てるには、教育基本法を見直すべきだ」と述べ、現在の教育基本法に宗教心、国を愛する心、伝統文化の三項目を加えるべきだと述べ、また金杉氏は教育基本法には欠けているものがある。人格の完成をめざしながら非常に抽象的だ。教育の理念をきちんと見据えた教育基本法の見直しが必要だと発言したといわれる。

この問題は臨調審設置法の規定とのからみもあり、大きい波紋を呼んでいる。

米飯給食、普及伸び悩み
文部省の全国調査の結果

伝統的食習慣を身につけさせ、また余剰米対策として51年度から進めてきた給食給食の実施率が、昨年とほぼ同じであることが、17日までにまとめた文部省調査でわかった。それによると、今年5月現在で、給食に米飯を出している学校は、全国の公立小、中、高校、特殊教育学校、計約3万校(1,428万人)。これは完全給食実施校の96.1%で昨年より僅かに1.1%の微増、しかも一校当りの平均実施回数は1.8回と頭打ち状態で、文部省の普及達成計画「60年度までに週2回、60年度初めの週3回実施」に達しない。

児童の心臓検診に補助
へき地校6,700校へ

日本学校健康会の調べによると、50年度の小、中、高校の死亡総数(学校管理下)は235人で、このうち突然死が41.3%であった。ところが57年度は236人のうち、57.6%と増加しており、それが心臓疾患によるものが多いところから、各市町村では検診を進めているが、へき地校の実施率がきわめて低いと見られるので、文部省は来年度約5,200万円を該当市町村へ補助し、早期発見へ検診努力をしようという方針をきめた。

①「自己教育力」を育てる特別活動
自己教育力育成の場や機会を学校教育に求めると、教育課程の内外を通じて最もふさわしい領域が特別活動であると思われる。

②教育課程上の特質
周知のように、現在の中学校の教育課程の基礎である学習指導要領は、次のような改訂の基本方針に基づいて実施されている。

③「自己教育力」を育てる特別活動
教育指導の形態には、集団場面と個別場面の二通りがあるが、特別活動は集団場面を通しての教育活動である。また、各教科と異なり、集団活動そのものが、教材であり、生徒にとっては、集団活動そのものが学習対象である。

④「自己教育力」を育てる特別活動
この領域であるといえ、この領域で育つべき態度や能力、特別活動の固有な特質として、「なすこと」によって学習活動があらわれる。

⑤「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑥「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑦「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑧「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑨「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑩「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑪「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑫「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑬「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑭「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑮「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑯「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑰「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑱「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑲「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

⑳「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

㉑「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

㉒「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

㉓「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

㉔「自己教育力」を育てる特別活動
「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

生徒指導と特別活動 修学旅行

16

以上のことから、人間性豊かな生徒の育成の面から、特別活動が、教育課程上非常に重視され、期待されていることは明らかである。また、この人間性(パーソナリティ)の重要な一面の一つが情意面であることから、この面に働きかけ、自己教育力や自己学習力、自己指導力の発達を促す生徒指導及び特別活動の教育的特質は特に重視されよう。

①教育活動としての特質
②教育活動を通しての人間形成
③集団活動を通しての人間形成

④教育活動を通しての人間形成
⑤教育活動を通しての人間形成

⑥教育活動を通しての人間形成
⑦教育活動を通しての人間形成

⑧教育活動を通しての人間形成
⑨教育活動を通しての人間形成

⑩教育活動を通しての人間形成
⑪教育活動を通しての人間形成

⑫教育活動を通しての人間形成
⑬教育活動を通しての人間形成

⑭教育活動を通しての人間形成
⑮教育活動を通しての人間形成

⑯教育活動を通しての人間形成
⑰教育活動を通しての人間形成

⑱教育活動を通しての人間形成
⑲教育活動を通しての人間形成

「自己教育力」を育てる修学旅行 (3)

特別活動—効果的な体験的学習

教育指導の形態には、集団場面と個別場面の二通りがあるが、特別活動は集団場面を通しての教育活動である。また、各教科と異なり、集団活動そのものが、教材であり、生徒にとっては、集団活動そのものが学習対象である。

この領域であるといえ、この領域で育つべき態度や能力、特別活動の固有な特質として、「なすこと」によって学習活動があらわれる。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

「自己教育力」を育てる修学旅行は、この原則において、教育の成果をあげるものであることを改めて確認すべきである。

文部省教科調査官 高橋哲夫



新しい修学旅行を求めて出発
松戸六実高校—10月29日東京駅

一年半の準備実り

松戸六実高校
関西修学旅行へ

昭和五十八年八月以来一年余にわたり「新しい修学旅行を模索して」事前の準備・指導を連続してきた千葉県立松戸六実高等学校(三橋橋校長、生徒四百四十七名、引率教職員十八名)は、去る十月二十九日、待望の関西修学旅行に出発した。

この日、東京駅は東京都をはじめ関東各県の高等学校の修学旅行団で大変な混雑ぶりであった。

教職員の方のための航空教室

熊本で開催

熊本日日新聞社、全日本空輸熊本支店主催、熊本県教育委員会および助成修学旅行による「教職員の方のための航空教室」が、十一月十七日熊本で開催される。

これは、熊本県内の高校教職員を対象に、航空機利用による修学旅行の推奨とPR活動のために行われるもので、全日空のPR映画上映、助成修学旅行英一修学旅行部長の講演「修学旅行における航空機利用の現状と課題」、全日空熊本支店長・パイロット・スチュワーデス・整備士によるパネルディスカッション「快適な空の旅をするために」などが予定されている。



元気で帰着—11月1日東京駅

全修協地区会議始まる
助成修学旅行研究協会(山本種一理事長)の五十九年度地区会議は、本年度事業の中間総括と、来年度修学旅行の実施計画の検討を主要議題として、次の日程で開催される。

▼東北地区—十一月八日(九日)福島県飯坂
▼中国・四国地区—十一月十四日(十五日)広島市
▼関東地区—十一月二十一日(東京)
▼北陸・東海地区—十一月二十八日(二十九日)三重県津市

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。
静寂のなかに憩いのひととき。

〈修学旅行の専用旅館〉
〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原
箱根高原ホテル
電話0460-4-8595(代表)

修学旅行のお宿に
全館を開放

- 延暦寺会館本館
- 別館比叡
- 延暦寺会館第1別館 (収容 600名様)
- 延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッパリした気分で次のコースへ
☆頭がよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

〈国際観光旅館〉
比叡山 **延暦寺会館**
TEL 0775-78-0047・0554
TELEX 5464-917

山陽路 岡山のお宿

10,000坪の庭園を擁し、おもちゃつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)
昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承ります。

政府登録国際観光旅館
とまた **苦田温泉 乃利武**
〒701-11 岡山市栢谷1453
☎086294-2321 TELEX. 5922-621

いらっしやいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ

収容 600名様
浴場 150名様
設備 全館冷暖房
防災 諸設備完備
駐車場 バス20台

政府登録
国際観光旅館 **びわ湖リゾートホテル**
大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321